

学校だより 加茂野小学校

学校の教育目標

豊かな心とやりぬく力をもつ加茂野の子
考える子・優しい子・元気な子



「何かに夢中になれる」これも出し切るだ！さて、夏休みにも…。

加茂野小学校長 堀部 昇

7月のある日、4年生6人が勇んで校長室にやってきました。どうしても話したいことがあるという雰囲気を醸し出しています。話を聞いてみると、見たこともないキノコを見つけ、「一体これは何だろう？」と言うことなのです。その後の経過は以下の通り。



ある日の出来事（その後の経過）

「失礼します。校長先生、このキノコ。何でしょう？」「新種？」
「真っ白やね。丸いしおもしろい形だね。何かなあ。じゃあ、証拠写真を撮っておこうか。そして、二つあるから、校長先生と君たちと一つずつ。校長先生も調べてみるよ。」

次の日

「失礼します。図書館のキノコの本にありました。色が白いし、これじゃないですか。（ツクリタケ）」
「形はどう？説明が書いてあるからぴったり合っているか見てごらん。」
「大きさは5～10cm。あれっ、ちょっと小さい。このキノコは1.5cmしかない。」「へたの所も形が違う。」「ということは、ツクリタケではない。」



別のキノコを探してみる。

「それじゃあ、これは…。（ホコリタケ）」
「色は白、全体の形も一緒。」
「それに表面のぼつぼつ。これ一緒じゃん！」「多分、ホコリタケだ。」
「大きさは2～4cm。」
「ちょっと本より小さいなあ。」「1日たってしぼんだんじゃない？」
「そしたら、もう一回探して確かめてみよう。近くや湿ったところ。あるかもしれないよ。」
「校長先生、また来ます！」



さらに次の日

「タブレットでも調べてみたけど、どれがどれかわからなくて…」
「昨日、ホコリタケって言ってたよね。だからホコリタケで調べたら」
「写真で見て見ようよ」「あった、あった！たくさんの写真。」
「そっくり！」「この写真の模様、まったく一緒！」「ホコリタケだ！」
探索は続きます…。その後、見つけた場所でホコリタケ数個を発見！

素敵な「出し切る姿・力」



- 身近な生活から問題を見つける。そして解決しようとする。
- 仲間と情報収集する。（本やタブレットなどで）
- 仲間と、事実を明らかにし、お互いに考えを出し合い、まとめていく。
- 再度、現場へ行き確かめようとする。



何かに夢中になれるって素敵ですよ。これも一つの出し切る！

明日からはいよいよ長い夏休みに入ります。それぞれが何かに夢中になれるものを見つけ、思い切り関わられたらいいですね。それがきっと『私の出し切る！』になると思います。

それでは、安心・安全に気を付け、みなさんと元気に再会できることを心待ちにしています。